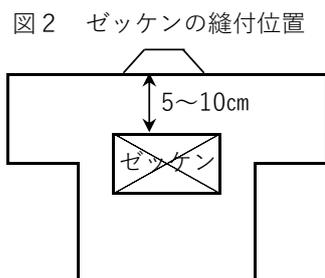


第40回 東京都少年柔道大会（兼、第45回全国少年柔道大会 東京都予選）要項

1. 主催 公益財団法人東京都柔道連盟・読売新聞社
2. 後援 公益財団法人講道館・全日本柔道少年団・東京都柔道道場連盟
3. 日時 令和7年3月2日（日） 開場 8：45 開会式10：00
●7階大道場でチーム毎に順次計量と配列の確認を行います。計量は9：45で終了します。
なお、会場では大会の準備を行っておりますので指示に従いアップを行ってください。
4. 会場 講道館 大道場 〒112-0003 文京区春日1-16-30
5. 参加資格 (1) 東京都内の柔道場・警察道場・地区体育館及び柔道クラブ等の責任者のいる団体の練習を行っている小学生。
(2) 出場するチームは、同一所属からは1チームに限る。
(3) 参加する選手は、原則として2025年4月30日時点で小学校5年生・6年生の男・女。
但し、5年生の補充として4年生は出場できるが、3年生以下の出場は認めない。
(4) 出場するチーム及び選手は、2025/2/8時点で東京都柔道連盟を通して全柔連登録が完了していること。また、選手は出場チームから個人登録をしていること。
※登録の「完了」とは登録費納付済みであり、登録費未納は「未登録」となります。
(5) 参加チームの監督は、全柔連公認指導者資格【C指導員以上】を有し、東京柔道連盟を通して、全日本柔道連盟に指導者登録をしていること。
6. チーム編成 (1) チームの編成は、道場・体育館・クラブ単位とする。混成チームは認めない。
(2) 1チームの編成は、監督1名、選手5名、補欠2名とし申込後の変更はできない。
(3) 選手の編成は、大将・副将・中堅は6年生、次鋒・先鋒は5年生とし、学年順に配列する。
ただし、下学年の児童が一学年上の児童の位置に出場することはできる。
また、選手は各学年順に配列し、同学年内は「体重順」に配列すること。
(4) 選手の変更はエントリーしている補欠からに限り行うことができる。この場合も各学年順に配列し同学年内は「体重順」に配列すること。 *補欠の補充はできない。
(5) 計量は入場次第、大道場で行い、計量結果により配列を確認する。
(6) 2戦目以降の怪我による選手の配列変更は認める。ただし、選手の編成は定められた通りに配列すること。変更については配列決定後、各試合場に届け出ること。
(7) 一旦退いた選手は、その後の試合に出場することはできない。
7. 試合方法 (1) トーナメント戦で行う。
(2) 各チーム5名の点取り対抗戦とし、試合毎のオーダー変更は認めない。
(3) 勝敗決定の方法は、次のとおりとする。
①勝ち数の多いチームを勝ちとする。
②勝ち数が同じときは内容（「一本勝ち」「技有」の勝ち数）による。
③内容も同じときは代表戦を1回行い、必ず優劣を決する。
代表戦に出場する選手は「引き分け」の中から抽選で1組を選び通常の3分間の試合を行う。
得点差がなく、かつ「指導」差が1以内の場合は旗判定で勝敗を決する（GSは行わない）。
8. 審判規定 (1) 国際柔道連盟試合審判規定及び国内における少年大会特別規定による。
(2) 試合時間は、3分間とする。
(3) 勝敗の判定基準は「一本」「技有」「僅差」※とし、得点差がなく、かつ「指導」差が1以内の場合は「引き分け」とする。
※「僅差」とは、双方の選手間に技による評価(技有)がない、又は同等の場合、「指導」差が2あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。
9. 表彰 (1) 優勝・準優勝・3位（2チーム）の計4チームを表彰する。
(2) 優勝・準優勝・3位（2チーム）の中より優秀選手を表彰する。
(3) 優勝チーム及び準優勝チームを全国少年柔道大会へ派遣する。

10. 参加申込 (1) 申込締切 2025年2月3日 (月) 24時締切
 (2) 申込方法 所定の申込みフォームに必要事項を入力の上、下記メールに添付し申込みこと。
 申込みアドレス：moshikomi@tojuren.or.jp / 件名：都少年申込み (団体名)
 * 申込書はPDF等にせず、Excelデータのまま送付のこと。
 転記時の入力間違いの防止と業務の効率化のためご理解とご協力をお願いいたします。
 申込を受信しましたら受信連絡をいたします。迷惑メールの対策などでドメイン指定を行っている場合、受信できないことがありますので、「@tojuren.or.jp」を受信設定してください
 (3) 参加費 1チーム 5,000円
 支払方法 大会当日、チーム受付にて納入のこと。
 (4) 問合せ先 東京都柔道連盟 TEL 03-3818-5639 / 080-3505-4985、tojuren@tojuren.or.jp
11. 組み合わせ 2025年2月5日 (水) 都柔連事務所にて主催者が行う。* 組合せ公開：2月7日 (金) 午後予定
12. 保険 (1) 主催者が、参加者全員に対して傷害保険の加入手続きを行い、その費用を負担する。
 尚、万一の事故発生に備え、参加者各人が別途傷害保険に加入するなどして、万全の事故対策をたてておくこと。
 (2) 大会中の不慮の負傷、疾病については応急処置を施すとともに、傷害保険の範囲内で責任を負うものとする。
 (3) 大会当日、参加者は健康保険証 (コピーでも可) 又はそれに代わるマイナンバーカードを必ず持参すること。
13. その他 (1) 計量
 計量は、柔道衣上下を着用し帯を収めた状態で行う。申込時の申告体重は同様に計測すること。
 ※申告体重は少数点以下を四捨五入した整数で申告すること。
 (2) 柔道衣について
 柔道衣は白色のみとし袖・裾の折込みは禁止とする。ただし、成長期を考慮し、今大会に限り5cm・一折りまでの折込み可。また、前合わせについては十分な重なりがあること。
 認証柔道衣の使用は義務付けない。ただし、製造者マークについては全柔連の規定を遵守する。
 * 肩に三本線が入ったアディダスの柔道衣は認めない。
 (3) 女子選手の着用するTシャツは無地の白色のみとする。(男子のインナー着用は不可)
 長い髪は束ねること。束ねた髪が長い場合は更に折り返して結ぶなど毛先が相手の目に入らなよう配慮すること。また、怪我防止のためヘアピンやヘアアクセサリは使用しない。
 爪は短く切りそろえること。
 (4) ゼッケン
 ①参加選手は、着用する柔道衣に規定の大きさのゼッケンを正しく縫い付けること。
 ②所属名は全日本柔道連盟に登録した『申込み団体名 (所属団体)』(省略は可) とする。
 ③ゼッケンの仕様と縫い付け方。
 a) サイズは横30cm~35cm・縦25cm~30cmとする。
 b) 布地は白地 (晒・太綾)。
 c) 書体は太いゴシック体又は明朝体で横書きとし、男子は黒色、女子は濃赤色。
 d) 苗字 (姓) は上側2/3、所属名は下側1/3。
 e) 縫い付けの位置は、後ろ襟から5cm~10cm下部とし、周囲と対角線に強い糸で縫い付ける。



(5) 脳震盪について

①大会前1か月以内に脳震盪を受傷した者は脳神経外科の治療を受け、出場の許可を得ること。

②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。

なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。

③練習の再開に関しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

④当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

(6) 皮膚真菌症（トンスランス感染症）について

発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は大会への出場ができない場合もある。

(7) 監督として入館する者は、審判員に準じた服装（背広・ネクタイ着用）を基本とする。

*男性：スーツ・ネクタイ着用、女性：スーツ着用 ※注意）審判員ネクタイは不可

(8) 監督の行為・言動について

監督・コーチの役割は所属の選手が会場に入館してから退館までの間、選手の行動に責任を持たなければならない。

*試合が止まっている間（「待て」から「始め」）のみ選手に対して指示を与えることができる

*次の行為を禁止する

①試合が続行している最中に指示を出すこと

②対戦相手や所属の選手を侮辱する言動や態度

(9) 個人情報、肖像権の取り扱いについて

下記項目について、申込書の提出をもって了承されたものとし取扱い致します。

参加申込書に記載された個人情報・競技結果・大会中に撮影された写真または動画等の映像が、大会プログラム・競技会場内外の掲示板等・都柔連ホームページ・都柔連Facebookに掲載される場合があります。また、その他報道機関等により新聞、雑誌、テレビ及び関連ホームページ等に公開される場合があります。

大会時に撮影する映像を、審判員および指導者の技能向上のための研修会資料として使用する場合があります。

(10) 指導者の皆様へ

本大会は、身体的にも精神的にも発育途上の小学生児童の大会であることを常に念頭におかれて特に危険防止について考慮願います。また、礼法を正しく行わせることはもとより、姿勢・組み方についてもご配慮・ご指導をお願いいたします。